

## 環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	10	事例№	7	依頼者	西尾市立一色東部小学校	実施場所	一色干潟
実施対象	小学4年生2クラス（46名）						
実施日時	令和6年9月17日（火）9時20分～10時20分						
テーマ	海のごみが生き物に与える影響と干潟やそこにすむ生き物について学ぶ。						

### ●依頼内容

干潟と干潟にすむ生き物について学ぶ総合学習の講師を紹介してほしい。

### ●講師：戸館真人氏（蒲郡市竹島水族館副館長、飼育主任、学芸員）

戸館氏は蒲郡市竹島水族館学芸員であり、副館長、飼育主任を務めている。日頃から学芸員として、幼児から大人まで竹島水族館を訪れた人々に水辺の生き物についての解説などを行っている。

### ●授業の内容

現地への移動・事前説明	子どもたちは、担任の先生の先導の下、小学校から干潟まで自転車で移動した。現地に到着後、堤防に並んで座り、講師から干潟の役割と干潟にすむ生き物の種類や生態について説明を受けた。続いて、講師から、干潟に入って生き物の観察・採集を行うにあたってのポイントや注意事項の説明を受けた。	20分
干潟の生き物の観察	子どもたちは、虫かごやタモを持って講師とともに干潟に入り、生き物を探して観察、採集に取り組んだ。干潟はアサリなどの二枚貝やエビ・カニ類などの多く生き物の生息場所となっているが、この日はほとんど見つけることができなかった。	30分
まとめ	干潟から上がった後、再び堤防に集まって座り、講師から授業のまとめの話聞いた。この日、干潟に生き物があまりいなかった原因として、今年の夏はたいへん暑い日が続いたため、生き物は砂地の奥の方に潜ったり、沖に移動したりしていたのではないかと説明があった。最後に、講師から、多くの生き物がこれからも干潟にすみ続けられるよう、海を汚さないように気を付けてほしいというメッセージが伝えられた。	10分

### ●授業の様子

暑い中、子どもたちは自転車で20分ほどかけて干潟に到着すると、お茶を飲んで体調を整えた後、ビーチサンダルに履き替え、堤防に座って講師の話静静地に聞いていた。干潟での生き物の観察の時間になると、子どもたちは友だち同士で声をかけあって楽しそうに生き物を探したり、講師に質問をしたりしていた。この日は生物をあまり見つけることができず、残念そうにしている子どももいた。

干潟の役割や干潟の生き物の話を聞いた。



干潟に入り生き物を探して観察した。

